

## コース31 まきはたやま 巻機山

リーダー CL M/N SL T/H  
 実施日 令和元年9月15日(日)  
 天候 曇時々晴れ グレード C上~D  
 参加者 14人(男性5 女性9)  
 コースポイント



ポイント	到着時間	出発時間	備考
秋葉区役所前		5:30	
桜坂駐車場	7:45	8:10	準備・登山開始
焼松(五合目)	9:10	9:20	風通しが悪く蒸し暑い。
展望台(六合目)	10:30	10:45	日光を浴びる。日陰で休憩(2名パーティー外れる)
避難小屋	11:50	12:10	休憩(1名パーティーを外れる。SL残る。)
巻機山頂上	12:40	13:00	割引山分岐・休憩・集合写真
展望台(六合目)	14:10	14:20	休憩
焼松(五合目)	15:30	15:40	休憩
桜坂駐車場	16:30	17:00	下山終了
秋葉区役所前	19:30		予定より早く到着

### 山行等概要(幹事のコメント)

- 曇り、時々晴れ、気温30度程度ということで、真夏の炎天下での下見(8月10日実施)と比べると大変有難い天候でした。
- この好天候の助けもあり、登りでは概ね4時間半で割引山分岐に到りました。標準タイムよりも大幅に速い。(75歳を最年長として10名の平均年齢は65.6歳でした。)吾が新津ハイキングクラブにも、これだけの力が温存されていたことに気付かされました。
- この想定外の参加者のパワーでスケジュールが大変楽になり、下山では標準タイムを守っても1時間程早く着くことが出来ました。
- 付添いで頂上目前に下山したSLを含め、4名が途中でパーティーを離れることになりました。機会がありましたら再度挑戦して下さい。
- 標準タイムで巻機山に登ることができれば大きな自信になることと思います。また、今回登頂の9名(Lを除く)の皆さんは自信を持って秋の山に挑んでみて下さい。山の素晴らしい紅葉が待っていますよ。



## 『巻機山』山行に参加して

1708 K/T

夜明け前、車を走らせると西の空に大きな月が未だ浮かんでいて、区役所までの道を照らしてくれていた。不安で寝不足の私に、「楽しんでおいでよ」とささやいてくれているようで、少しだけ心がほぐれた。

5時半に区役所を出発し西口を経由。今日のメンバー14人。バスの中では、本日心強いスペシャルサポーター付きと言うリーダーの言葉。ご配慮ありがとうございます。Nさんよろしくお願いたします。サブリーダーも力持ち！体力に心配な私の心が、ここで又少しほぐれる。

巻機山登山口「桜坂駐車場」に到着すると、スゴイスゴイスゴイ!?どこも満杯！県外ナンバーがすごく多い！こんなにも沢山の人がやって来る「巻機山」っていったいどんな山？身支度を整えながら、不安はさておき魅力を探りたい気持ちも湧いてきた。

8：10頃登山口標柱を通り、しばらくは歩きやすい道だったが、間もなく石がゴロゴロの登山道に変わる。大好きなブナ林を歩いているけど、視線は足元に集中。時々聞こえる鳥の声も、チョットだけキョロキョロの後は耳で楽しむ。まずは安全第一！



出発して1時間程で五合目に着き小休憩。

ここまでで既に汗だくになり、出発が三合目なのに先を考えると……。バテないように私はエネルギー補給。この先も石と岩とお付き合いが続き、ずっとずっとゴロゴロした登りなんだと思うと、少し心が折れそうになる。キツイけれどマイナスイオンいっぱいブナ林に元気をもらい、時々吹いてくるヒンヤリした風も気持ち良い。

五合目から50分位登った辺りが六合目だ！又クビ沢の水音が聞こえ、あの絶壁の天狗岩も現れると、一瞬疲れを忘れさせてくれた。沢の水音を聞いていると、飛び込んだら気持ちがいいだろうなあなんて想像してしまう。この辺りから下山する人と時々出会うが、小屋泊まりだった人達のような。

ひたすら登り六合目から35分、七合目物見平に出た。休憩！ゴツゴツした岩と日差しを遮るものが無く眩しい。前にドンとそびえる前巻機に、あそこまでもたどり着けるのかと心配になってしまった。不安をかき消すには、バテないようにやっぱり食べるしかない。今回は食べてばかりいる気がする。休憩を済ませたばかりの時はすごく元気回復！な感じなのに、歩きだし、登りが始まると段々足が重くなる。前巻機まではかなり急坂続くけど大丈夫かな……。下山者にも沢山すれ違い、待ってもらうのもペースが乱れるのか、疲れが増す気がするのは私だけかな？そこは大きな声で挨拶を交わして疲労を吹き飛ばすしかない（気持

ちだけ)。ちょっと周りを見渡すと景色も違ってきている。腰かけた傍らに、コオロギ発見。冬はどうしているんだろう？ここで生きていて強い！登山道脇にイワショウブやオオヤマリンドウを見つけた。不思議と疲れが薄らぐ。やはり花があると嬉しい。

物見平から45分位だろうか遂に「前巻機着いた～！！」（11:30）私の中ではここが本日のゴール・・・だけれど、皆さんのゴールではない。記念写真の後、休憩中ぐるっと見渡せばこれまで登ってきた景色とは別世界!?遠くまで広がる緑の笹原と、色づき始めた草紅葉に「うわー！」秋を感じる。そして遠くまで山の連なりが良く見える（山座同定、登山初心者の私には無理ですけど）せっかく登ったのに下りたくはないが、避難小屋で20分休憩してみんなのゴール「御機屋」を目指す。池塘を眺めながら歩き、いよいよ最後の登りに近付く。前巻機からも避難小屋からも割となだらかに見えた（見えただけの）道は、足元は悪くないけれど疲れもあるせいか地味～にキツイ登りだ。しかし暑くはなく気持ち良い風を受けながら歩く。

いよいよ山頂！（12:42）とうとうここまで来てしまった。やったね！天空の草原？その先の景色も見たくなるが、体力も時間もここまで。山頂はとても涼しい。記念写真や20分休憩中に、みるみるうちに霧が周辺の山々を隠してしまい幻想的な世界が広がる。13時山下山を開始。下りは気持ちが楽だけれど、疲れているので慎重に慎重にと自分に言い聞かす。滑るのでは？と私は特に下りが臆病になってしまう。歩き始めると、視界がよくなりイワショウブがたくさん咲いているのが眺められた。可愛い花に気持ちが和む。さあ、気を引き締めて戻ろう。

途中ワンちゃんに追い越されたり、下山するグループも後になったり、先になったりそれぞれのペースで下り、ブナの林を抜けると駐車場が見えてきた。無事下山。区役所にも早めの到着（19:40）皆さんお疲れ様！！



私にとっては、今までで一番長いルートで、一番きついルートで自信も無かったけど、何とか登ることが出来た心に残る山行でした。そして、あの何処までも続いている草原のような雰囲気「巻機山」の魅力ちょっぴりですが体感できました。

リーダーが帰りのバスの中、事前のトレーニングを即した事を反省とおっしゃっていましたが、この予定コースなら当然の事。そのお陰でトレーニングさぼり気味の、自分のお尻を叩く事が出来ました（十分なトレーニングとは言えませんが）。私こそ登山は体力いっぱいではダメだと痛感しました。反省。このような長いルートをチャレンジさせて頂いて有り難うございました。リーダー、サブリーダー、スペシャルサポーター、山行に参加して一緒に歩いて下さった皆様有り難うございました。

1315 E/S さんのブログ「ウズラの里山日記」より抜粋

<https://ameblo.jp/hiking1315/entry-12525882370.html>



日曜日どの駐車場も車々



風のないブナ林の登り、汗が噴き出します



五合目に到着



越後のマッターホルン大源太山



六合目からの天狗岩



九合目から見る巻機山



避難小屋



織姫の池に写る巻機山



山頂へ最後の登り



山頂で昼飯



織姫の池の横を通り



登山口に到着